

中村支所管内より



ここを一つに「ヨイショーッ！」 青壮年部幡多本部中村支部

青壮年部幡多本部中村支部は12月14日、四万十市立八東小学校でもちつき体験学習を行いました。同支部山崎秀和副部長の水田で5年生が今年の6月中旬に田植えを、10月中旬には稲刈りも行っていて、もちつき体験は5、6年生合わせて11人が参加しました。

地元の餅屋「藤田屋」さんに協力していただき、中に入れる餡も用意。セイロでもち米を蒸した後、「ヨイショーッ！」と掛け声の中、皆が交代でついで餡餅を作りました。山崎副部長は「昨年もちつきができなかった6年生にとっても今年は開催できてよかった。あとは皆がおいしいと言って食べてもらえれば」と笑顔で話しました。

大方支所管内より



お正月リース・ミニ門松作り 女性部大方支部のみなさん

ミニ門松作り、お正月リース作りを12月29日に行い、37人が参加しました。お正月リースは、稲穂や椿、扇や松、水引など自由に飾り付け、ミニ門松には松・竹・梅の他にカスミンソウ、千両、南天などをオアシスに挿しました。

ミニ門松作りは毎年行い、地域で一人暮らしをしている高齢者等に配っています。今日は約170個作りしました。参加した部員は「自分流で作るので世界で一つの門松。毎年楽しみに来ている」と飾り付けを楽しんでいました。

幡多地区

から こんには 今月の 気になる人

大方支所管内より



お父さんはイチゴ(さちのか)を作っています！

岡田 行雲くん(13)
壮太くん(8)

お父さんは、今月の表紙の岡田隆三さん。黒潮町浮鞭のハウス20アールでイチゴ(さちのか)を栽培しています。「耕耘機を使う時や力仕事など手伝ってくれて、良い戦力です」と話していました。

お兄ちゃんの行雲くんがリードしカメラに向けてポーズを取ってくれました。二人ともお父さんの作ったイチゴを頬張り笑顔を見せてくれました。

幡多地区より



絵手紙教室開催 幡多地区女性部の皆さん

幡多地区女性部では11月30日、絵手紙教室を開催しました。講師は中村支部の夕部真理先生。初めにお手本を見せ、描き方や描く順番、要点を説明しました。その後は、いざ本番。下書きなしで絵手紙を仕上げました。同じお手本でも表情や色合いは一枚一枚違います。

「筆を持ったのは久しぶりで描き始めは勇気がいる。絵手紙は初めてで難しいと思っていたけどもっと描きたい」と皆さん楽しんでいました。

十和支所管内より



道の駅とおわで郷土料理を伝承 木曜日バイキングで提供

道の駅四万十とおわで「とおわ食堂」のバイキングが、昨年11月25日から再開しました。毎週、食堂の調理スタッフが「おかみさん市」の4グループより郷土料理の作り方を習いながら一緒に調理しています。

道の駅の刈谷貴泉店長は「グループで得意な料理や特徴がある。違いを味わえるのも良さの一つです。木曜と言えば『とおわのバイキング!』となるように定着させたい」と意気込みます。材料も地元の農家が生産した食材を使い「原木椎茸のたたき」「イタドリ油炒め」など20種類以上の料理のうち約半数が郷土料理です。

県外から来たというお客さんは「メニューが豊富で全種類食べたい。初めて食べる料理もあったが美味しかった」とバイキングを楽しんでいました。

宿毛支所管内より



ミニ門松作り・クリスマスケーキ作り 女性部宿毛支部のみなさん

毎年恒例のミニ門松作りを12月23日に行い、23人が参加しました。

門松には「南天」「松」「竹」「梅」「菊」「笹」を使用しました。南天や松など枝ぶりもさまざま。水引も円にして枝に添える人、竹に巻く人、一人一人の個性が光る門松が出来上がりました。今年初めて参加した部員さんは「自分流で作って楽しかった。お正月は床の間に飾りたい」と持ち帰りました。

できごととピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

6 幡多地区 よさこいミディトマト目慣らし会 よさこいミディトマト研究会



色や大きさの確認をし合う会員の皆さん

よさこいミディトマト研究会は12月3日、中村支所で目慣らし会を開き、部員や販売課の職員、営農指導員など合わせて15人が参加しました。同研究会は管内の12軒の生産者で構成、早い生産者は10月中旬から収穫が始まり、11月下旬には部員全員が出荷を始めました。職員が10月からの県内外の販売状況や価格の動き、出荷規格について説明しました。トマトの規格は、糖度7度以上で着色についても指導し、部会で品質統一を図ります。部会長の安田幸人さんは「コロナ感染もまだ心配があり、今年度は重油高など生産資材が高騰しているが品質の良いものを作ろう」と部員に声をかけていました。

4 西土佐支所 菜園コンクールで部員の菜園技術を向上 女性部幡多地区西土佐支部



家庭菜園を審査する審査員の皆さん

女性部幡多地区西土佐支部は12月6日、「菜園コンクール」を開きました。部員の家庭菜園の技術を向上しようと毎年12月に行われ、昨年初めて休止しましたが60年余り続いている取り組みです。1位から3位、参加賞が用意され、同支部女性部員や審査員らが出場者8人の圃場を巡回します。この日は女性部員29人が参加し、審査員らと巡回。審査員6人で、栽培品目数や生育状況、管理状況など6つの項目を審査しました。参加した部員らは栽培されている野菜や圃場を見て、「立派に育っている」「草もなくきれい」と評価。受賞者は4月の「女性部同支部の総会」で発表、表彰されます。



宿毛4Hクラブと二宮保育所の園児のみなさん

「宿毛4Hクラブ」は宿毛市の青年農業者約20人が所属し、子どもたちに出前授業や調理体験、農業体験など、さまざまな食農教育活動をしています。12月13日には、小筑紫小学校3、4年生25人を対象に出前授業を行いました。地元特産の野菜や国産野菜の品質の良さなど、正しい知識を持ってもらおうと開催しています。ミヨウガやオクラをハウス栽培しているクラブ員の尾崎公帝さんが写真などを用いて、同市産の野菜やオクラの生育について説明。その後児童は、同クラブの部員が栽培したイチゴとミカンを使って、ショーケースのデコレーションに挑戦しました。12月22日には、同クラブと青壮年部幡多本部宿毛支部が協力し、二宮保育所の園児がジャガイモを収穫。9月21日に植えつけ、その後の草引きも行っていました。園児19人が参加し、ジャガイモを掘っては「あったー！」「宝さがしてみたい」と大喜びでした。収穫が終わると、同クラブが採れたジャガイモを揚げて園児に振る舞いました。植え付けから草引き、収穫まで一貫した体験ができました。

1 宿毛支所 「食」と「農」の体験を 宿毛4Hクラブ

7 十和支所 高知県産業技術功労表彰 岡峯久雄さん



表彰を受ける岡峯さん

高知県は11月23日、県産業技術功労表彰を高知市で開きました。農業部門において、広井茶生産組合代表の岡峯久雄さんが功労者表彰を受けました。岡峯さんは地域の製茶工場の工場長として茶の栽培管理や荒茶加工に取り組むなど、県茶業の振興に寄与されてきました。特に工場設備の増設や自動化に取り組み、高品質な茶の製造と、高い製茶技術により茶の販売単価を向上させました。岡峯さんは「コロナ禍で影響を受けたが、お茶の世界をもう一度盛りあげたい。お茶を通じて地域貢献を続けていく。まだまだやらないかん」と意気込みを語りました。

5 幡多地区 地区・支所合同 運営委員会開催



報告事項を聞く運営委員の皆さん

幡多地区は昨年12月より、令和3年度の支所運営委員会を開きました。12月6日の十和支所から始まり、12月中旬までに管内10支所と3つの出張所、1事業所での運営委員会を終えました。12月13日に行われた中村支所（中央）運営委員会では、組合員18人とJA役職員13人が参加。第4期の決算の結果についての報告や支所再編についての説明を行いました。また、第3回本所運営委員会にて上がった重油価格についての質問に回答し、経営基盤強化（3カ年計画）や集出荷場における利用料等について協議されました。

3 幡多地区本部 本館とJAグリーン四万十店 消防訓練実施



実習を受ける職員

幡多地区本部は12月20日、幡多中央消防組合消防本部を招き、職員を対象に避難訓練を開催し、職員約30人が参加。訓練は火災発生から避難誘導訓練、通報訓練や消火訓練、AED使用訓練など行い、同消防員が火災発生時の煙が上る速度や避難経路など説明し注意を呼び掛けました。また、緊急時を想定し緊迫した中での人命救助訓練も行い、AED使用時の注意点や心臓マッサージの重要性などを説明しました。参加した職員は「安心して来店していただく為にも、お客様の安全な場所への誘導や状況の説明など迅速に行い今日の訓練を活かしたい」と話しました。

2 大方支所 苺部会（さちのか） 現地検討会



ハウスを巡回し意見交換を行う部員の皆さん

大方支所苺部会は12月17日、現地検討会を開きました。同部会は10人が所属。この日は、部員5人のハウスを巡回しました。また、幡多農業振興センターから、今後は病気の原因にもなる結露を作らないためにも、ハウス内の急激な温度変化のないよう注意喚起がありました。部会では、昨年度約18トを出荷し、今年は25トを目標としています。大林博部会長は「来月の収穫を前に部員の栽培状況が見えてよかった。今後の管理についても、JA・振興センターと連携して前年度より数量アップを目指して取り組んでいきたい」と話しました。

初心者（家庭菜園）向け

ニラ



～一度植えたらくり返し収穫できる、お得感いっぱいの野菜～

●ニラは、他の緑黄色野菜に比べても、**ビタミンA、B1、C、カルシウムが豊富な栄養価が高い野菜**です。緑黄色野菜の代表選手。

【栽培暦】	●:種まき ○:植付け ■:収穫												品種	
作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	スーパーグリーンベルト	
露地栽培(春まき)			●									○		
露地栽培(秋まき)											●			

① 播種床の準備

- 種まきの1ヶ月くらい前に、土の酸度を矯正するために、1㎡当たり**苦土石灰を100～150g程度**と、**完熟堆肥**もしくは**有機質資材を4kg**あて全面に施し、深く耕しておきます。
- 種まきの7～10日前に、**特777SPを100g**施肥し、畝幅120cm程度の播種床を作ります。本圃10㎡当たり播種床は2.4㎡ぐらいを必要とします。

② 種まき

- 播種床には前日までに十分灌水をしておきます。種子は1㎡当たり2.5mlを用意し、24時間程度水に浸した後陰干ししてからまきます。均一にバラまきし、厚さ5mm程度に覆土します。その後、ワラまたは新聞紙などで薄く被覆したのち灌水を行います。
- 10日程度で発芽しますので、発芽を確認したいワラまたは新聞紙などを取り除きます。発芽後は、土の乾き具合を見て灌水を行います。



③ 畑の準備

- 耕土が深く、通気性の良い微酸性土壌を好みますので、土の酸度の矯正を行い十分耕しておきます。
- 元肥は、**CDU燐加安S555を1㎡当たり400g**植付けの一週間前程度に施用し、よく耕して土と肥料をなじませ、畝幅1.5mに畝立てしておきます。

④ 植付け

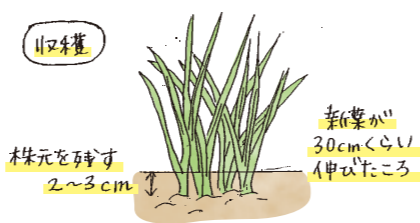
- 株の充実をはかるため、十分な株養成期間を取ることが必要かつ重要な事であるため、本葉5～6枚程度の苗を条間・株間とも30cmの間隔に、分けつ本数を含め、3本程度を植え付けします。植付けの深さは、分けつすぎないように茎の部分が埋まる程度にできるだけ深くします。植付けが遅れる場合は分けつが少なくなるので、植付け本数を増やします。植付けが終わると直ちに灌水すると共に、活着するまでは乾燥に注意し、植え傷みを防止します。

⑤ 株養成期間の管理

- 乾燥や肥料切れは、株の充実が遅れるばかりでなく、病虫害の被害も多くなるため灌水及び追肥を行います。
- CDU燐加安S555を1㎡当たり20g**、梅雨時期や大雨により畝面が固くなると、通気・排水性が悪くなり生育も抑制されますので、適宜、根を傷めないようにできるだけ深く中耕します。

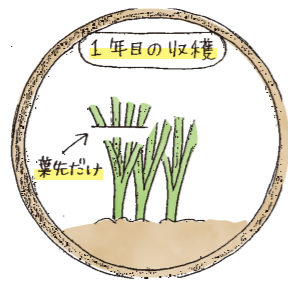
⑥ 収穫と管理

- 地上部が枯れて越冬します。3月上旬から新芽が顔を出しますので、新葉が30cmくらいに伸びたら株元を2～3cmくらい残して刈り取ります。
- 収穫の都度、**1㎡当たりCDU燐加安S555を40g**の追肥を行います。
- 8月に入るとトウだちし花が咲きます。トウだちは約20日間続き、そのままにしておくと株の生育が良くないので、できるだけ早く摘み取ります。



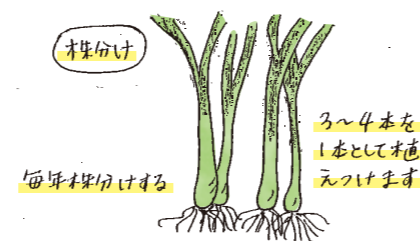
⑦ 【1年目の収穫】

- 1年目は葉先だけの収穫にして、株づくりに専念しましょう。



⑧ 【株分け】

- 株が古くなると収量があがらず品質も悪くなるので、掘り上げて株分けし、植え直す。



役立つ! 得する! 情報 えいのう～

■ 幡多農業振興センター 掛水 (0880-34-7070)

農作業を「カイゼン」してみませんか？

■カイゼンとは

みなさんは「カイゼン」という言葉を耳にしたことはありますか。カイゼンとは、現状の作業内容や人・物の動きを見直すことで、作業や経費などのムダをなくし、作業の効率化や安全性を向上させる取組のことです。製造業を中心に実践されていましたが、近年では農業分野でも取組が進んでいます。

カイゼンを考える上で基本となる「5S」

① 整理



不要なものは処分する。使う頻度によって、資材の置く場所を変える。

② 整頓



「どこに」、「何が」あるか、一目でわかるようにする。

③ 清掃



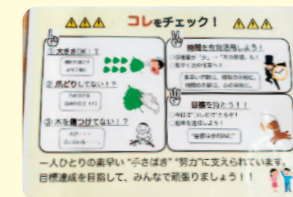
ゴミや汚れがないように、掃除を習慣化する。

※「カイゼン」前

④ 清潔

・「整理」、「整頓」、「清掃」された状態を維持する。

⑤ しつけ



ルールや作業の注意点をいつでも確認できる仕組みを作る。

※「5S」とは整理、整頓、清掃、清潔、しつけのことで、管理手法の1つです。

■幡多地域での取組について

幡多地域では、JA西土佐集出荷場の米ナス共同選果作業やオオバ生産農家などで、作業者の技術や作業効率向上を目指して取組が始まっています。



【JA西土佐集出荷場での取組事例】
作業場のレイアウト（資材の置き場）や、使用する道具について見直している。

←動画を撮影しながら課題を模索中



【オオバ生産農家での取組事例】
作業マニュアルを作成し、作業の注意点を従業員と共有している。

←収穫作業のマニュアル

今回は、カイゼンの導入部分について簡単に紹介させていただきました。皆さんも、まずは5Sを取り入れてみることで、カイゼンへの1歩を踏み出してみませんか。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

大好きな山北みかんの特集の表紙を見て、読ませていただきました。山北みかんの歴史を知れたり勉強になりました!! これからも応援しています!!
(大月支所管内・37歳)

山北みかん大好きなので特集が良かったです。
(中村支所管内・67歳)

「小さな産地の大きな未来」見出しもいいですね。以前、みかん狩りに行かせてもらってもぎたてのみかんがとてもおいしかったことを思い出します。ピニル袋の中のみかんをお土産にバスに乗り、おみやげに喜んでもらったこと等。産地の歴史は長いのですね。また行きたい。山北みかんのスイーツ、加工品を食べてみたいです。
(大方支所管内・79歳)

みかんが大好きで毎年みかん狩りをするのが私の趣味の一つです。山北みかんも年に何度が買うくらい大好きです。農協の直販所をのぞくと、やっと野菜も安くなりだして購入しやすくなりうれしいです。何時、農協に行っても安く野菜を買えると助かるなあというも思っています。今年も沢山お世話になりました。
(三原支所管内・81歳)

▼12月号は山北みかんが特集でしたが、それに關するおたよりがたくさん届き、やはり人気のみかんだと改めて感じました。私も自宅ではそのままで食べますが、香南市のお店を回って「山北みかん大福」や「フルーツサンド」「山北みかんバター」などの加工品もぜひ試してみたいと思いました。

ハーバリウム

名前をはじめて知りました。今年五月誕生日のプレゼント、訪問看護師のみなさんからいただきました。わたくしの好きな紫系の花、そして誕生日の花、霞草でした。素敵なお花に感謝感謝!! P17のチクカツを見て大喜びしました。うれしゅうございました。
(中村支所管内・91歳)

▼看護師さんの気持ちが嬉しいですね! 誕生日にプレゼントする方に喜んでもらえるようきちんと選ぶ看護師さん、本当に素敵ですね。

近頃、お花屋さんでよくみかけるビンに入ったきれいな花、ハーバリウムと言っんですね。とても気に入ってました。教室があると行ってみたいですね。皆さん楽しそうですね。ミカン大好きな私:アイスバー、フルーツサンド山北みかんチップ、たい焼き:食べたーい。令和4年1月31日で45年ががんばった仕事を退職になります。皆さんのように畑を守り、少しですが野菜を作っているのかなと思います。楽しみが苦しみにならないように! 「退職ですお月様に見守られた45年」朝早い仕事でいつもお月様が見えてくれました。もう少しです。頑張るよ。
(中村支所管内・62歳)

▼45年間お疲れさまでした! 長い年月、まだ月が出てくる頃に出勤とは本当に頭がさがります。これからはゆつくりと、趣味や野菜作りを楽しんでください。



INFORMATION お知らせ



現在建設中のJA高知県幡多地区本部は、令和4年3月中に竣工し4月より運営開始となります。尚、中村支所信用課及び共済課は複合施設が完了するまで現行のまま、移転はありません。駐車場等ご不便をお掛け致しますが、何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

JAで年金をお受け取りませんか ～年金友の会 イベント紹介～

農産物や記念品のプレゼントや、加入者同士の親睦を図るイベントなど、会員だけの特典があります。
○各支所貯金窓口までお問い合わせ下さい。



幡多地区ゴルフ大会



大方支部ペタンク大会